



<http://www.tokinacinema.com>

KT Nakano Building
5-68-10, Nakano, Nakano-ku, Tokyo 164-8616, Japan



Tokina

CINEMA *ATX*

L E N S E S

50-135 mm

使用説明書

Instruction Manual

Bedienungsanleitung

Manuel d'utilisation



取扱説明書

P4-7

各部の名称

- ① マニュアルフォーカスリング
- ② 距離目盛 (ftまたは m)
- ③ 距離目盛指標
- ④ ズームリング
- ⑤ ズーム目盛
- ⑥ ズーム／絞り指標
- ⑦ 絞り目盛
- ⑧ 絞りリング
- ⑨ PLマウントまたはキャノンEFマウント
- ⑩ フォーカス/ズームピン取り付け穴
フォーカスリング6カ所
ズームリング6カ所
- ⑪ レンズサポート取り付けネジ穴

Bedienungsanleitung

P12-15

Beschreibung der Teile

- ① Manueller Fokussiererring
- ② Fokussentfernungsskala (f oder m)
- ③ Fokussentfernungsindex
- ④ Zoomring
- ⑤ Brennweitenskala
- ⑥ Zoom/Blendenindex
- ⑦ Blendenskala
- ⑧ Blendenring
- ⑨ PL- oder EF-Verbindung
- ⑩ Befestigungslöcher für Fokus-/ Zoomstifte
Fokusring - 6 Löcher
Zoomring - 6 Löcher
- ⑪ 1/4" Gewindeloch

Instruction Manual

P8-11

Description of Parts

- ① Manual Focusing Ring
- ② Focus Distance Scale (f or m)
- ③ Focus Distance Index
- ④ Zoom Ring
- ⑤ Focal Length Scale
- ⑥ Zoom/Diaphragm Index
- ⑦ Diaphragm Scale
- ⑧ Diaphragm Ring
- ⑨ PL or EF Mount
- ⑩ Insert Holes for Focus /Zoom Pins
Focus Ring - 6 holes
Zoom Ring - 6 holes
- ⑪ 1/4" threaded hole

Manuel d'utilisation

P16-19

Nomenclature

- ① Bague de mise au point manuelle
- ② Echelle de distance (ft ou m)
- ③ Repère de distance
- ④ Bague de zoom
- ⑤ Echelle de focale
- ⑥ Repère de zoom et d'ouverture
- ⑦ Echelle d'ouverture
- ⑧ Bague d'ouverture
- ⑨ Monture PL ou EF
- ⑩ Orifices filetés pour épingles
Bague de mise au point - 6 orifices
Bague de zoom - 6 orifices
- ⑪ Filetage 1/4"

※本説明書では、危険をその内容、程度に応じ、次の2種類に分けています。



この指示に従わないで誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があります。



この指示に従わないで誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性があります。また、物的損害が発生する可能性があります。

※本説明書では、次のような絵表示を使用しています。



△は注意が必要な内容があることを示しています。図の中に書かれているのは注意の内容です。



⊘は禁止を示しています。図の中に書かれているのは禁止の内容です。



! は指示を示しています。

■レンズ安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ずこの「■レンズ安全上のご注意」をよくお読みになり、それぞれの注意事項をお守りください。

⚠ 警告



レンズで直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。



レンズは幼児の手の届くところには置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。また、ストラップが首に巻き付くと、窒息するおそれがあります。

⚠ 注意



レンズをカメラに装着する時は、レンズをカメラに正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。正しく装着されていない場合、はずれて落下し、ケガをするおそれがあります。



日光が直接当たるところにレンズを置かないでください。レンズによって近くの物に集光し、火災が発生するおそれがあります。



レンズを付けたカメラで、太陽や強い光源を直接見ないでください。視力障害の原因となります。

■レンズ取り扱い上のご注意

⚠ 注意



・レンズをカメラに装着する時は、レンズをカメラに正しくセットし、確実にロックされたことを確認してください。正しく装着されていない場合、レンズがはずれたり、はずれて落下するおそれがあります。
・レンズは精密機械です。扱いには十分ご注意ください。レンズに強い振動や衝撃、あるいは圧力を加えると、精密に調整された部分に故障が発生します。落としたり、ぶつけないように注意してください。



・カメラに装着したレンズに無理な過重をかけないでください。レンズおよびカメラ側のマウント部分が損傷するおそれがあります。



・大型のレンズはマウント部分に負荷がかかりやすいので、操作時や移動時には必ずカメラとレンズと一緒に持つようにしてください。



・長期間使用しないときや、大切な映像を撮る時には、必ず事前にレンズをチェックしたり試し撮りをするなどして、失敗を防ぐようにしてください。



・レンズを改造、変造しないでください。レンズやカメラの故障の原因になります。改造、変造したレンズはサービスセンターでの修理が受けられない場合があります。
・ゴミや泥、砂、ホコリ、水、有害ガス、塩分などがレンズ内に入ると、故障の原因になります。ご注意ください。
※シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

物的破損を発生させないため、ご使用前には必ずこの「■レンズ取り扱い上のご注意」をよくお読みになり、それぞれの注意事項をお守りください。

⚠ 注意



・このレンズは防水機構になっておりません。水没させないようにご注意ください。水没品は、ほとんど修理不能になりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
・レンズ本体やレンズ面に水滴や泥、砂などがついてる時は水滴をぬぐい、砂などをブローアーなどできれいに落としてから静かにレンズをカメラからはずし、さらに、マウント側の水滴をぬぐい、泥、砂などもブローアーなどできれいに落としてください。とくに海辺などで使用した後は、塩分が残らないように十分拭いてください。
・水滴などがついたまま放置しますと、毛細管現象により水がレンズ内部に浸み込んでいき、故障の原因になりますのでご注意ください。



・寒暖の差のはげしい所で使用しますと、温度差によって結露が生じ故障の原因となり、修理不可能になるか修理費用が多くなることとなりますのでご注意ください。バッグなどに入れてできるだけ温度変化を緩やかにして、温度差がなくなってから取り出すようにしてください。
・レンズを40℃以上の高温下、あるいは-10℃以下の低温下の場所に長く置くと、ボディが変形したり、正常に作動しない場合がありますのでご注意ください。



・レンズを外したときは、レンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置いてください。
・レンズを使用しない時は、必ず前と後のキャップを付けてください。レンズ面に傷がついたり、連動ピンが曲がったりして、作動不良をおこす原因となります。
・レンズ面には直接指で触れないでください。レンズ面について汚れは、市販のレンズクリーナーをご使用ください。その際は、レンズ面の中心から外側に渦巻き状に拭いてください。

⚠ 注意



・当社以外で分解・改造されたもの、あるいは保存上の不備または誤った使用による故障、落下衝撃による故障、浸水、冠水、砂入り品などは保証期間中であっても修理は有料となります。また、損傷が著しく製品の性能復元ができかねる場合、修理不能となることがありますのでご了承ください。



・万一故障などした場合は、レンズをご自分で修理しないで、「レンズ修理相談窓口」へご相談ください。なお、故障の状態によっては、その際のメディアやフィルムなどを添付して頂く、修理作業の参考になります。



・保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛りはおお客様にご負担願います。



・お取り扱い上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水かきり、砂・泥の付着、レンズ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、お手入れの不備(カビ発生など)により発生した故障は有料修理または修理不能になる場合があります。



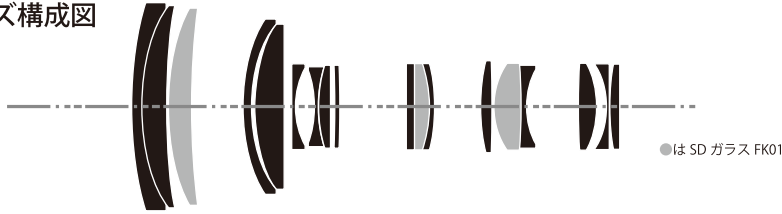
・本製品の故障に起因する付随的障害(撮影に要した諸費用および撮影により得られる利益の損失など)については、補償いたしかねます。



・本製品は撮影のための製品であり、それ以外の使用目的で使用された時の故障および付随的障害については、ご容赦ください。

■Tokina 50-135 シネマ ATX レンズデータ

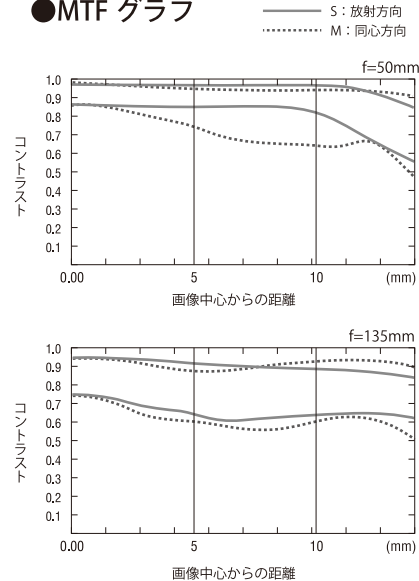
●レンズ構成図



●仕様

焦点距離	50-135mm
ズーム比	2.7 倍
レンズ構成	14 群 18 枚
マウント	PL マウントまたは EF マウント
対応センサーサイズ	スーパー 35mm
最短撮影距離	1m (3.28 ft)
最大撮影倍率	1 : 5.89
ズーム方式	回転式
絞り羽根数	9 枚
アイリス	T3.0-T22 (F2.8-F22)
フィルター径	112mm
全長	PLマウント 159mm (マウント表面より142mm) EFマウント 155.5mm (マウント表面より150mm)
前頭部直径	114mm
最大径	123mm
重量	1.53Kg
その他	レンズサポート取付ネジ穴: 1/4"

●MTF グラフ



■レンズの着脱方法

レンズの着脱は、カメラのメーカーの使用説明書に従って着脱してください。

※着脱の際にはレンズをぶつけたりしないようにご注意ください。

■露出モード

露出モードのセットはカメラの使用説明書に従ってください。

※レンズのマウント仕様変更はできません。
※この使用説明書に記載された外観・スペックおよび付属品は、予告なく変更することがあります。

■レンズサポート取り付けネジ穴

レンズをより安全で確実にご使用いただくために、本製品はカメラ・リグに取り付けるため、レンズサポート取り付けネジ穴(1/4") ⑪を装備しています。
ご使用のカメラ・リグの使用説明書に従ってご使用ください。

■ピント合わせ

ピント合わせはマニュアルフォーカスのみです。

■フォーカス / ズームピン取り付け

付属の青いフォーカス/ズームピンを、フォーカスリングまたはズームリングにあるフォーカス/ズームピン取り付け穴(各6カ所) ⑩のいずれかに装着することで、ズームおよびフォーカス操作がスムーズになります。



※フォーカス/ズームピンはレンズに対して垂直にまっすぐにネジ込んでください。曲がった状態で無理にねじ込むと、ネジ山が潰れ、レンズから外せなくなる恐れがあります。

※フォーカス/ズームピンを装着した状態でレンズを持ち運ばないでください。ピンが破損する恐れがあります。

Following symbols represent danger and are for your safety.

 Warning where there is a risk causing death or severe injury to all those who use this equipment by not conforming to these instructions.	 Caution where there is a risk causing injury or property damage to all those who use this equipment by not conforming to these instructions.
---	--

Illustration shows:

 Caution	 Prohibition	 Instructions
---	---	--

For Your Safety

Warning



Do not look at the sun through the lens or through the lens mounted on a camera. Retinal damage and/or blindness may occur.



Keep out of the reach of children. The lens is heavy and could cause injury if it falls on a small child. Also, the lens strap is also a choking hazard. If the strap becomes wrapped around the neck suffocation may occur.

Caution



Be sure to mount the lens securely to the camera and confirm that the lens is locked into place before use. If not the lens could fall off the camera causing damage or injury.



Do not leave the lens in direct sunlight where it may condense the light and start a fire.



Do not look at the sun or other intense light sources through the lens or through the lens mounted on a camera. Retinal damage and/or blindness may occur.

For safety of lens handling

Caution



- When the lens is mounted on your camera, please be sure to set it properly and confirm it is firmly locked in place. If not, the lens could fall off the camera causing damage or injury.
- The lens is a precision instrument. Handle with care and do not drop, hit against a hard object, shake violently or apply pressure. Otherwise, it may cause the precision parts to malfunction.



- Be sure not to apply too much weight on the lens when mounted on your camera. The extra weight may cause damage to both the camera and the lens mount.
- When using a large or heavy lens, be sure to properly support the lens and camera to avoid damaging the mounts.



- Be sure to inspect the lens and/or take test shots with the lens in advance of any actual shooting. This is recommended for when the lens is new and if the lens has been in storage for a long time.

Caution



- Do not remodel or convert the lens. This may cause malfunction for both the camera and lens. Repair for the altered lens may void manufacturer's warranted service. Remove all dust, dirt, sand, water, harmful gas and saline matter from the lens. Be sure not to use organic solvents such as paint thinner or benzene for cleaning.



- THE LENS IS NOT WATERPROOF! Do not submerge or spray the lens with water. Water damaged lens will be impossible to repair.
- Wipe off water droplet by using a clean dry cloth. Use the blower to remove dirt and sand. Clean thoroughly when used near and around the ocean. Salt water is highly corrosive.
- Any water that seeps into the lens could cause it to malfunction.



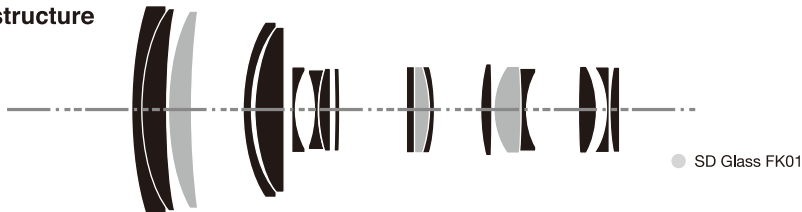
- Refrain from using the lens in high humidity or take extra precautions in these types of climates. In order to keep the damage minimal and to keep the repair cost down, follow these precautions, when shooting in such climate. Keep the lens in a bag or a case and remove only after moving to a place of more mild temperature. If the lens is left at temperatures over +40C or under -10C for an extended period of time the lens body could become deformed or the lens may malfunction.



- When the lens is attached or detached from your camera, turn the lens to face up for better handling.
- To prevent scratches on the front and rear elements, use the lens caps at all time when the lens is not in use.
- Avoid touching the front or rear elements with your hand to prevent smudges and fingerprints.
- Remove fingerprints and smudges by using a lens cleaner and disposable lens tissues. Use gentle, circular motion from the center of the lens toward the outer edge of the lens.

Technical Data of Tokina 50-135 Cinema Lens

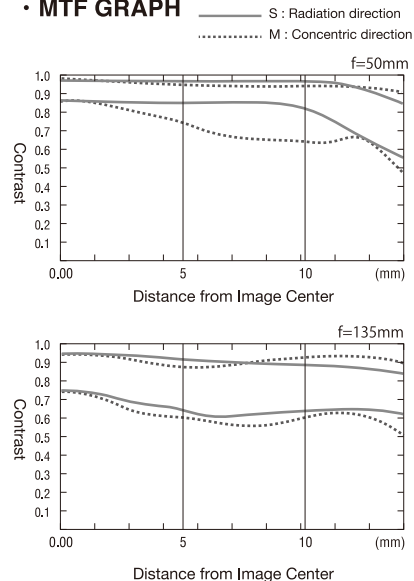
• Lens structure



• Performance Table

Focal Distance	50-135mm
Zoom Ratio	2.7
Optical Structure	14 groups /18 elements
Mount	PL or EF Mount
Sensor Size	Super 35mm
Minimum Focus Distance	1m (3.28 ft)
Maximum Macro Magnification	1 : 5.89
Zoom Mode	Rotary Zoom
Number of Aperture Diaphragms	9
Depth of Field	T3.0 – T22 (F2.8 – F22)
Filter Size	112mm
Overall Length	PL Mount 159mm (from 142mm mount surface) EF Mount 155.5mm (from 150mm mount surface)
Diameter of Front Head	114mm
Maximum Diameter	123mm
Weight	1.53 kg
1/4" threaded hole for lens support which helps mounting camera rigs	

• MTF GRAPH



How to Attach/Detach the lens

Attach/Detach the lens to/from your camera according to the instruction in the Manual provided with your camera.

*When attaching/detaching the lens, be careful not to drop the lens to avoid impact damage.

Exposure Modes

For the exposure mode settings, follow the instructions in the manual provided with your camera.

*Specifications of the lens mount cannot be modified.
*The external appearance, specifications shown in this catalog and accessories may be changed without any advance notice.

1/4" threaded hole

For more secure and safe use, this lens has a 1/4" threaded hole for lens support which helps mounting camera rigs.

Follow the instruction manual of your camera rigs.

Focusing

This is a manual focus lens only. Focus by turning the focus ring until the image is in focus or set the desired focus distance on the distance scale.

How to use Focus/Zoom Pins

Screw on the supplied blue focus/zoom pin into any hole ⑩ (6 each in focus/zoom ring), and you can operate focusing and zooming easily.



Use care when screwing on the focus/zoom pin. The pin must be aligned straight with the corresponding holes. If not, the threaded hole could get stripped or damaged.

Die folgenden Symbole weisen auf Gefahren hin und dienen Ihrer Sicherheit.



Warnung

Bei Risiken, die zum Tode oder zu schweren Verletzungen bei allen Personen führen können, die diese Ausrüstung nutzen, ohne die Anleitung zu befolgen.



Vorsicht

Bei Risiken, die zu Verletzungen oder Schäden bei allen Personen führen können, die diese Ausrüstung nutzen, ohne die Anleitung zu befolgen.

Die Darstellung zeigt:



Vorsicht



Verbot



Anweisungen

Für Ihre Sicherheit



Warnung



Schauen Sie durch das Objektiv oder durch das auf einer Kamera angebrachte Objektiv nicht ins direkte Sonnenlicht. Netzhautschädigungen und/oder Blindheit können auftreten.



Außer Reichweite von Kindern aufbewahren. Das Objektiv ist schwer und kann Verletzungen verursachen, wenn es auf ein kleines Kind herabfällt. Der Objektivriemen stellt eine Erstickungsgefahr dar. Wenn der Riemen um den Hals gewickelt wird, kann dies zum Erstickung führen.



Stellen Sie sicher, dass das Objektiv sicher an der Kamera befestigt ist und überprüfen Sie, dass es vor der Benutzung in der richtigen Position eingerastet ist. Falls nicht, kann das Objektiv sich von der Kamera lösen und durch den Fall Schäden oder Verletzungen verursachen.



Lassen Sie das Objektiv nicht in direktem Sonnenlicht liegen, wo es Licht bündeln und einen Brand verursachen kann.



Schauen Sie durch das Objektiv oder durch das auf einer Kamera angebrachte Objektiv nicht ins direkte Sonnenlicht oder in starke Lichtquellen. Netzhautschädigungen und/oder Blindheit

Für Sicherheit beim Benutzen des Objektivs



Vorsicht



- Wenn das Objektiv auf Ihrer Kamera montiert ist, stellen Sie sicher, dass es korrekt und fest in der richtigen Position angebracht ist. Falls nicht, kann das Objektiv sich von der Kamera lösen und durch den Fall Schäden oder Verletzungen verursachen.
- Das Objektiv ist ein Präzisionsinstrument. Sie müssen es vorsichtig handhaben und dürfen es nicht fallen lassen, gegen harte Gegenstände schlagen, gewaltsam schütteln oder Druck aussetzen. Andernfalls kann es bei Präzisionsteilen zu Fehlfunktionen kommen.



- Stellen Sie sicher, dass auf die Kamera montierte Objektiv nicht mit zu viel Gewicht zu belasten. Zusätzliches Gewicht kann sowohl bei der Kamera, als auch beim Objektiv Schäden verursachen.
- Sorgen Sie bei der Benutzung eines großen oder schweren Objektivs für angemessene Stütze unter Objektiv und Kamera, um die Verbindungen nicht zu beschädigen.



- Stellen Sie sicher, das Objektiv vor tatsächlichen Aufnahmen zu überprüfen und/oder Probeaufnahmen zu machen. Dies wird empfohlen, wenn das Objektiv neu ist und wenn es längere Zeit gelagert wurde.

Um Schäden am Objektiv, Verletzungen an Ihnen und anderen zu vermeiden, lesen Sie die folgenden Sicherheitsvorkehrungen vollständig, bevor Sie die Ausrüstung benutzen. Bewahren Sie diese Sicherheitsanweisung dort auf, wo alle, die das Produkt nutzen, sie lesen können.



Vorsicht



- Nehmen Sie keine Veränderungen am Objektiv vor. Dies könnte sowohl bei der Kamera, als auch beim Objektiv zu Fehlfunktionen führen. Die Reparatur eines veränderten Objektivs kann zum Erlischen der Herstellergarantie führen. Entfernen Sie Staub, Schmutz, Sand, Wasser und schädliche Gase und salzhaltige Substanzen vom Objektiv. Benutzen Sie keine organischen Lösemittel wie Farbverdünner oder Benzin zur Reinigung.



- DIE LINSE IST NICHT WASSERDICHT! Besprühen und tauchen Sie das Objektiv nicht in Wasser. Objektiv mit Wasserschäden sind irreparabel.
- Entfernen Sie Wassertropfen mit einem sauberen, trockenen Tuch. Entfernen Sie Schmutz und Sand mit einem Gebläse. Reinigen Sie es sorgfältig nach Benutzung in der Nähe des Meeres. Salzwasser ist hochkorrosiv.



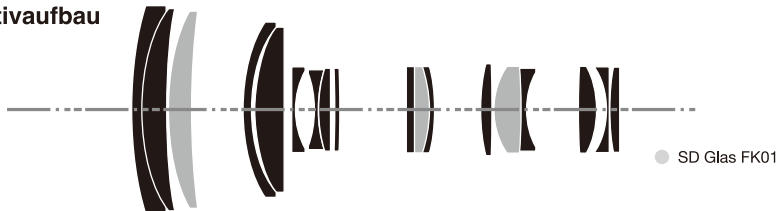
- Wasser, das in das Objektiv eindringt, kann Fehlfunktionen verursachen.
- Benutzen Sie das Objektiv nicht bei hoher Luftfeuchtigkeit oder ergreifen Sie unter solchen Klimabedingungen besondere Vorsichtsmaßnahmen. Um Schäden so gering wie möglich und Reparaturkosten niedrig zu halten, befolgen Sie diese Vorsichtsmaßnahmen, wenn Sie in solch einem Klima fotografieren. Bewahren Sie das Objektiv in einer Tasche oder Hülle auf und packen Sie es erst aus, wenn Sie sich an einem Ort mit milderen Temperaturen befinden. Wenn das Objektiv längere Zeit Temperaturen über +40 °C oder unter -10 °C ausgesetzt ist, kann sich das Objektivgehäuse verformen oder es treten Fehlfunktionen des Objektivs auf.



- Wenn Sie das Objektiv an Ihre Kamera anbringen oder abnehmen, halten Sie es zur besseren Handhabung mit der Vorderseite nach oben.
- Um Schrammen an der Vorder- und Rückseite zu vermeiden, benutzen Sie stets die Objektivkappen, wenn das Objektiv nicht genutzt wird.
- Vermeiden Sie es, die Vorder- oder Rückseite zu berühren, um Flecken und Fingerabdrücken vorzubeugen.
- Entfernen Sie Fingerabdrücke und Flecken mit einem Objektivreiniger und Einwegtüchern für Objektive. Reinigen Sie das Objektiv mit sanften, kreisenden Bewegungen vom Inneren der Linse hin zu den äußeren Rändern.

Technische Daten des Tokina 50-135 Filmobjektivs

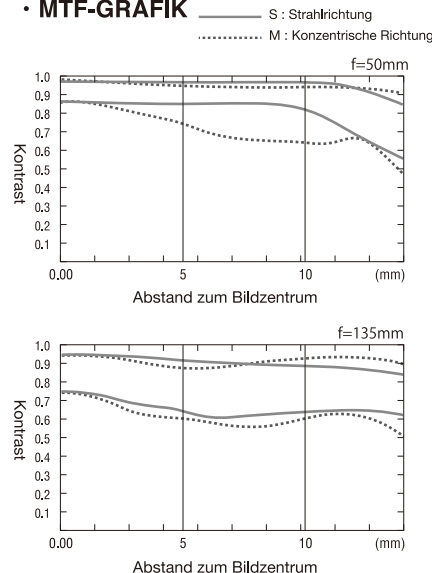
• Objektivaufbau



• Leistungstabelle

Brennweite	50-135 mm
Zoombereich	2,7
Optischer Aufbau	14 Gruppen / 18 Elemente
Verbindung	PL- oder EF-Verbindung
Sensorgröße	Super 35 mm
Minimale Fokussentfernung	1 m (3,28 ft)
Maximale Makro-Vergrößerung	1 : 5,89
Zoom-Modus	Drehbarer Zoom
Anzahl der O-enblenden	9
Tiefenschärfe	T3 – T22 (F2,8 – F22)
Filtergröße	112 mm
Gesamtlänge (von der Verbindung aus)	PL-Verbindung 159 mm (142 mm)
	EF-Verbindung 155,5 mm (150 mm)
Durchmesser des vorderen	114 mm
Maximaler Durchmesser	123 mm
Gewicht	1,53 kg
1/4 " Gewindeloch für Objektivstütze, das bei der Anbringung von Kameraringen hilft	

• MTF-GRAFIK



Befestigen/Abnehmen des Objektivs

Befestigen Sie das Objektiv an der Kamera bzw. nehmen Sie es von der Kamera gemäß der Anweisungen in der Anleitung Ihrer Kamera ab.

*Achten Sie beim Befestigen/Abnehmen des Objektivs darauf, es nicht fallen zu lassen und Stoßschäden zu vermeiden.

Belichtungsmodi

Folgen Sie den Anweisungen in der Anleitung Ihrer Kamera, um die Belichtungsmodi einzustellen.

- * Spezifikationen der Objektivbefestigung können nicht verändert werden.
- * Das Aussehen, die in diesem Katalog dargestellten Spezifikationen und Zubehörteile können ohne vorherige Ankündigung geändert werden.

1/4 " Gewindeloch

Zur sichereren Nutzung verfügt das Objektiv über ein 1/4" Gewindeloch für die Objektivstütze, das bei der Anbringung von Kameraträgern hilft. Befolgen Sie die Bedienungsanleitung Ihrer Kameraträger.

Fokussieren

Dies ist ein Objektiv zur ausschließlichen manuellen Fokussierung. Fokussieren Sie durch Drehen des Fokusrings, bis das Bild fokussiert ist oder stellen Sie die gewünschte Fokussentfernung auf der Abstandsskala ein.

Benutzung der Fokus-/Zoomstifte

Schrauben Sie den mitgelieferten blauen Fokus-/Zoomstift in eines der Löcher ⑩ (6 im Fokus-/Zoomring) und Sie können auf einfache Art fokussieren und zoomen.



Seien Sie beim Schrauben des Fokus-/Zoomstiftes Vorsicht. Der Stift muss gerade in den entsprechenden Löchern sitzen. Falls nicht, kann das Gewindeloch überdreht oder beschädigt werden.

Les symboles suivants représentent un danger et sont utiles à votre sécurité.



Attention

quand il existe un risque léthal ou causant de sévères blessures pour tous ceux utilisant cet équipement sans se conformer aux instructions.



Attention

quand il existe un risque causant des blessures ou des dégâts matériels pour tous ceux utilisant cet équipement sans se conformer aux instructions.

Ce symbole signifie :



Attention



Interdiction



Instructions

Pour votre sécurité

! Attention



Ne regardez pas le soleil à travers l'objectif ou à travers l'objectif monté sur un appareil. Une lésion de la rétine ou un aveuglement pourrait survenir.



Gardez hors d'atteinte des enfants. L'objectif est lourd et peut causer des blessures en cas de chute sur un petit enfant. De plus, la courroie de l'objectif représente un risque d'étouffement. Si la courroie vient à 'enrouler autour du cou un étranglement peut se produire.

! Attention



Soyez certain de fixer fermement l'objectif sur l'appareil et assurez-vous qu'il soit bien verrouillé à sa place avant usage. Dans le cas contraire l'objectif peut tomber de l'appareil causant des dommages ou blessures.



Ne pas laisser l'objectif à la lumière directe du soleil car il pourrait condenser la lumière et provoquer un incendie.



Ne regardez pas le soleil ou d'autres sources lumineuses intenses à travers l'objectif monté sur l'appareil. Une lésion de la rétine ou un aveuglement pourrait survenir.

Sécurité en manipulant l'objectif

! Attention



- Quand l'objectif est monté sur l'appareil, vérifiez bien son montage et assurez-vous que la fixation soit bien verrouillée. Dans le cas contraire, l'objectif pourrait tomber de l'appareil causant dommage ou blessure.
- L'objectif est un instrument de précision. Manipulez-le avec soin et ne le laissez pas chuter, cogner contre un objet dur, être secoué violemment ou subir une pression mécanique. Sinon, ses pièces de précision pourraient mal fonctionner.



- Assurez-vous de ne pas appliquer trop de poids sur l'objectif monté sur votre appareil. Ce poids additionnel peut causer des dommages tant à l'appareil qu'à la monture de l'objectif.
- Quand vous utilisez un objectif volumineux ou lourd, assurez-vous de supporter correctement l'objectif et l'appareil pour éviter d'endommager les montures.



- Vérifiez l'objectif et/ou prenez des rushes d'essai avec l'objectif en avance de tout tournage planifié. Ceci est recommandé lorsque l'objectif est neuf et quand celui-ci n'a pas été utilisé pendant une longue durée.

Pour éviter d'endommager votre objectif, de blesser les autres ou vous-même, lisez l'intégralité des précautions de sécurité suivantes avant d'utiliser cet équipement. Gardez cette notice de sécurité disponible là où tous ceux qui utilisent le produit pourront la lire.

! Attention



- Ne pas modifier ou convertir l'objectif. Cela peut causer des dysfonctionnements pour l'appareil et l'objectif. Réparer un objectif modifié peut annuler la garantie fabricant. Ôter toute poussière, saleté, sable, eau, gaz nocif ou matière saline de l'objectif. N'utilisez pas de solvants organiques tels qu'un diluant ou du benzène pour le nettoyage.



- L'OBJECTIF N'EST PAS ETANCHE ! Ne le recouvrez pas d'eau et ne l'aspergez pas avec de l'eau. Un objectif endommagé par l'eau sera dans l'impossibilité d'être réparé.
- Essuyez les gouttes d'eau avec un chiffon propre et sec. Utilisez un système souffleur pour ôter le sable et les saletés. Nettoyez minutieusement si l'objectif est utilisé près de l'océan. L'eau salée est très corrosive.
- De l'eau infiltrée dans l'objectif peut être cause de dysfonctionnements



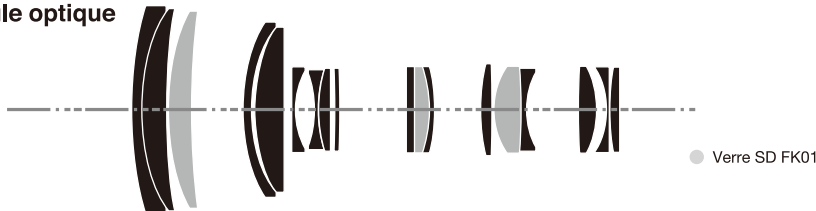
- Ne pas utiliser l'objectif en zone très humide ou bien prendre des précautions supplémentaires pour ce type de climat. Afin de réduire les dommages au maximum et de conserver les coûts de réparation au plus bas, suivez ces conseils en tournant dans de tels climats. Conservez l'objectif dans un sac ou dans un étui et le sortir uniquement après avoir atteint un endroit à la température plus douce. Si l'objectif est exposé à des températures de plus de +40°C ou inférieures à -10°C sur une période prolongée le fût de l'objectif peut se déformer ou l'objectif peut dysfonctionner.



- Quand l'objectif est fixé ou détaché de l'appareil, orientez-le de manière à lui faire face pour une meilleure prise en main.
- Afin d'éviter les rayures sur les éléments frontaux et arrière, utilisez constamment les bouchons d'objectif dès que l'objectif n'est pas utilisé.
- Evitez de toucher les éléments frontaux et arrière avec votre main pour éviter tâches et traces de doigts.
- Enlevez tâches et traces de doigts en utilisant un nettoyeur pour optique et du papier jetables pour optique. Faites un mouvement léger et circulaire du centre de l'objectif vers son bord extérieur.

Données techniques de l'objectif Tokina Cinema 50-135 Cinema

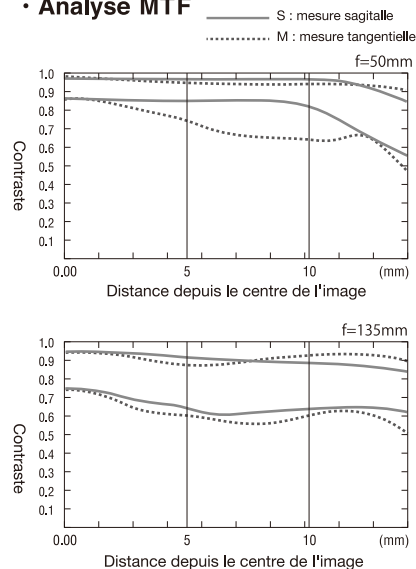
• Formule optique



• Spécifications

Distance focale	50-135mm
Ratio de zoom	2.7
Structure optique	14 groupes / 18 éléments
Monture	Monture PL ou EF
Taille de capteur	Super 35mm
Distance min. de MAP	1m (3.28 ft)
Ratio de grossissement macro	1 : 5.89
Mode de zoom	Zoom rotatif
Nombre de lamelles de diaph.	9
Plage d'ouvertures	T3.0 – T22 (F2.8 – F22)
Diamètre de filtre	112mm
Longueur totale	Monture PL 159mm (142mm sans la monture) Monture EF 155.5mm (150mm sans la monture)
Diamètre de la face avant	114mm
Diamètre maximal	123mm
Poids	1.53 kg
Filetage 1/4" pour support d'objectif et aide au montage d'accessoires caméra	

• Analyse MTF



Comment fixer / ôter l'objectif

Fixer/ôter l'objectif sur/de votre appareil suivant les instructions indiquées dans le manuel de votre appareil.

*En attachant/ôtant l'objectif, prenez garde de ne pas faire tomber l'objectif pour éviter tout dommage.

Modes d'exposition

Pour les réglages du mode d'exposition, suivez les instructions du manuel fourni avec votre appareil.

*Les spécifications de la monture de l'objectif ne peuvent pas être modifiées.

*L'aspect externe, les spécifications indiquées dans ce catalogue et les accessoires peuvent être sujets à modification sans annonce préalable.

Filetage 1/4"

Pour une utilisation plus sûre, cet objectif possède un emplacement fileté en 1/4" afin d'aider au montage de supports caméra. Suivez les instructions de montage indiquées par le fabricant de votre support.

Mise au point

Cet objectif ne possède qu'une mise au point manuelle. Elle s'effectue en tournant la bague de mise au point jusqu'à ce que l'image soit nette, ou bien en sélectionnant la distance de mise au point souhaitée sur l'échelle de distance.

Comment utiliser les épingles de zoom

Vissez l'épingle de zoom bleue fournie dans n'importe lequel des 6 orifices sur la bague de zoom, afin de mettre au point et de zoomer plus facilement.



Opérez avec soin en vissant l'épingle de zoom. L'épingle doit être alignée avec l'axe de l'orifice correspondant. Dans le cas contraire, le filetage de l'orifice pourrait être irrémédiablement endommagé.